

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

株式会社さくらさくプラス

2023年7月期第2四半期 決算説明資料

証券コード
7097

2023年3月15日


さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI

目次

2023年7月期第2四半期決算概要 P.3

2023年7月期業績予想 P.7

成長戦略 P.11



さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

2023年7月期第2四半期決算概要

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI

経営トピックス

『株式会社保育のデザイン研究所』完全子会社化へ

保育の研修企画・実施やコンサルティングを行う『株式会社保育のデザイン研究所』の全株式の取得を取締役会にて決議



株主還元 増配

2023年7月期は年間配当金を1株当たり12円に増配（中間6円、期末6円）を計画
（2022年7月期 年間配当金は株あたり10円（中間5円、期末5円））

子育て支援カフェ『みらいのテーブル 門前仲町』オープン！

2022年12月 保育所と人気ベーカリーカフェのコラボ第一号店舗



子育て支援住宅 西麻布プロジェクト

『東京都子育て支援住宅認定制度』取得



売上高

65.7 億円

運営施設数が74施設から86施設へ増加。預け控えで入園児数が一時的に減少、増収への寄与が見込んでいた程の水準とならなかったことにより、前年同期比17.5%増収に留まったが、足元で園児数は回復傾向にある

営業利益

2,100 万円

売上が当初見込んでいた程の水準とならなかったことに加え、運営施設の増加に伴い予定通りに増員を行ったこと等による人件費の増加及び物価高騰による諸経費の増加等に起因し、減益

経常利益

6,100 万円

施設開設に伴う補助金収入を1.8億円計上したものの、営業利益の減少と開設準備費を7千万円計上、第1四半期に経営統合に係る調査費用として約5千万円を計上したことなどにより、減益

(百万円)	2022年7月期 2Q実績	2023年7月期 2Q実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,599	6,576	977	17.5%
営業利益	80	21	△59	△73.6%
経常利益	108	61	△47	△43.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	61	2	△59	△95.9%

2023年7月期第2四半期貸借対照表

- 資産の部では、主に、運営施設数の増加に伴う補助金等に係る未収入金が約4億円増加し、子育て支援住宅の開発に向けた販売用不動産の取得により約3億円が増加した一方で建物及び土地の取得のため現金及び預金は減少、これらにより、資産合計が約12.8億円増加
- 負債の部では、主に保育所開設準備及び子育て支援住宅開発のための資金調達に伴い、有利子負債が約12.9億円増加

(百万円)	2022年7月期実績	2023年7月期2Q実績	前期末比
資産の部			
流動資産	4,162	4,628	466
現金及び預金	1,360	1,058	△301
仕掛販売用不動産	1,180	1,480	299
未収入金	1,044	1,466	421
その他	576	622	46
固定資産	9,259	10,075	816
有形固定資産	8,295	9,030	734
無形固定資産	124	171	46
投資その他資産	839	874	34
資産合計	13,421	14,704	1,282
負債の部			
流動負債	3,597	4,625	1,028
短期借入金	1,325	2,511	1,186
1年内返済予定の長期借入金	577	567	△9
その他	1,695	1,546	△148
固定負債	5,170	5,432	261
長期借入金	2,538	2,841	302
その他	2,631	2,590	△40
負債合計	8,767	10,058	1,290
純資産の部			
純資産合計	4,653	4,654	△7
負債・純資産合計	13,421	14,704	1,282



さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

2023年7月期業績予想



さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI

2023年7月期業績予想

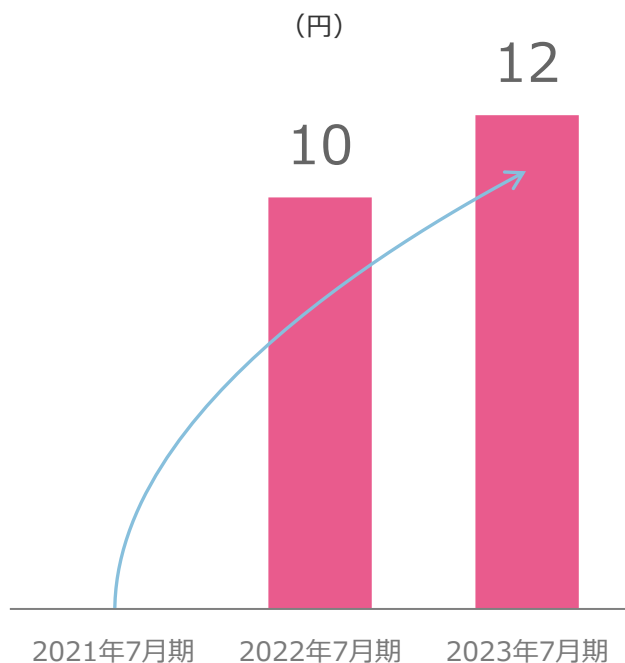
- 2023年7月期は、10月に1施設開設済み、4月に開設する2施設についても開園準備は順調に進捗
- 当該計画進捗に伴う運営施設数の増加、一部施設で低年齢児の一次的な入所率減少はあったものの、充足率は98.1%まで回復
園児数は当初想定通り増加する見込み、前期比14.2%の増収、営業増益を見込む

(百万円)	2022年7月期 実績	2023年7月期 予想	前期比	
			増減	増減率
売上高	11,992	13,689	1,697	14.2%
営業利益	21	335	314	—
経常利益	1,160	441	△719	△62.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	365	282	△83	△22.8%
従業員数(人)	2,004	—	—	—
保育所数(施設)	85	88	3	3.5%
東京都認可保育所数(施設)	78	81	3	3.8%

剰余金の配当（期末配当）について

- 2022年7月期より配当を開始 中長期的に配当性向20%を目指す
- 2022年7月期は当初予想より減益となったものの、当社の基本方針である株主の皆様への安定的な利益還元を重視し、当初の予定どおり1株あたり10円（中間5円・期末5円）の配当実施
- **2023年7月期は、前期10円（中間5円、期末5円）から今期12円（中間6円、期末6円）に増配を予定**

配当推移



	2022年7月期	2023年7月期
年間配当金	10円	12円 (予定)
中間	5円	6円 (予定)
期末	5円	6円 (予定)
配当性向	4.0%程度	19.0%程度

- 保育士の採用時には、虐待チェックシートを実施。運営ユニットが毎月園を巡回し、保育士のサポート、情報収集を行い、事故や虐待などを見逃さない体制を整えている

当社の安全への取り組み

運営委員会開催

- 外部アドバイザー・保護者代表・地域担当などが参加
- 要望・意見の収集と改善策の提案
- 園での事故事例について情報共有
- ご意見箱の設置
- ブログによる情報共有

保育マニュアル

- 日常業務を細かくマニュアル化した保育マニュアル
（登園時の対応、食事・午睡・お散歩他、安心・安全な保育に寄与）
- 冒頭に虐待の防止に関する指針や苦情対応フローなども掲載し、子どもを守る保育を実践



職員研修

- 階層により年11時間～56時間実施
実施後はレポートを作成し
研修内容の整理と習熟度の把握
- 園長・役職者向けプログラムとして
職員の園児に対する不適切対応、
リスクマネジメントなどの研修も実施



その他

- 毎日昼礼を行い、園内の情報・本部からの連絡を共有
- 毎月の職員会議にて、本部からの安全管理・虐待等の情報を共有・注意喚起
- 毎月、本部による巡回訪問の実施
- 事故事例が発覚した際は、本部に共有し、調査を実施



さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

成長戦略

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



- 子育て支援に係る国の施策により、保育ニーズが高まる中、保育サービス市場が拡大し、保育ビジネスへの参入が増加
- 岸田首相の「異次元の少子化対策」発言や、男性職員の育児休業取得率「100%」の方針、保育所の空き定員を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業等、国策としての少子化対策が急ピッチで進捗

2000年以降の子育て支援に係る主な施策

年度	施策
2001年	認可保育所を民間に開放
2005年	子ども・子育て応援プラン（～2009年）
2008年	新待機児童ゼロ作戦（～2010年）
2010年	子ども・子育てビジョン（～2014年）
2013年	待機児童解消加速化プラン（～2017年）
2017年	子育て安心プラン
2019年	幼児教育の無償化
2020年	新子育て安心プラン
2023年	「こども家庭庁」2023年4月1日設置予定

『異次元の少子化対策』の概要

～少子化対策を含む子どもに関連する予算を倍増する意向～

3本柱

1. 児童手当など経済支援の拡大
2. 子育てサービスの充実
3. 働き方改革の推進

「こども家庭庁」設置

2023年4月1日

こども家庭庁の創設

子どもに関わる政策の一元化



子どもに関わる施策推進の効率化

子どもに関わる各ライフステージに応じた切れ目ない支援が可能に

子どもに関わる将来に向けての投資が加速

- 2022年の出生率は前年比5.1%減の80万人割れ（79万9728人）
- 通常国会にて異次元の少子化対策、2023年6月に骨太方針

異次元の少子化対策	政府方針等
	2023年4月 こども家庭庁創設
	将来的なこども・子育て予算倍増 子育て政策の一つとして住宅は重要な視点
	女性の就労支援
103万の壁や130万の壁といった制度の見直し	

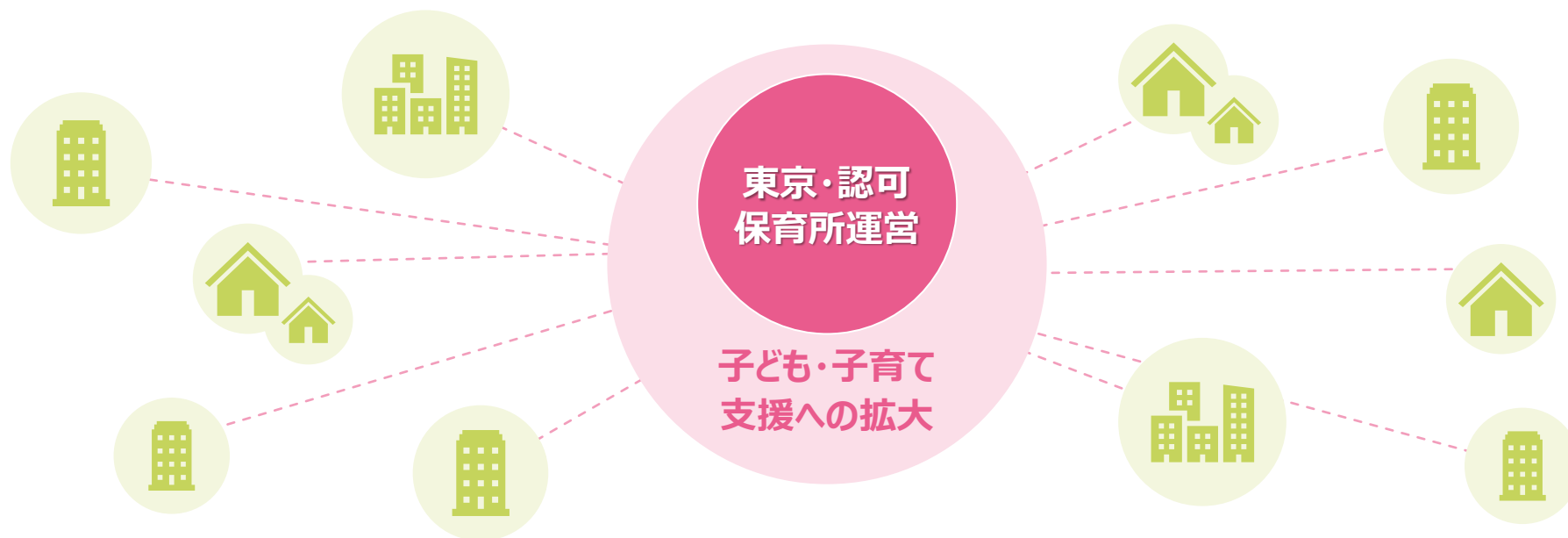
政府方針との親和性

グループの事業活動
認可保育所を中心とした事業スキーム
子育て支援住宅の企画・開発
保育関係者等への研修支援
子育て支援カフェの運営
主に中学受験を対象とした進学塾運営
ICTを利活用した保育運営事業者へのサービス

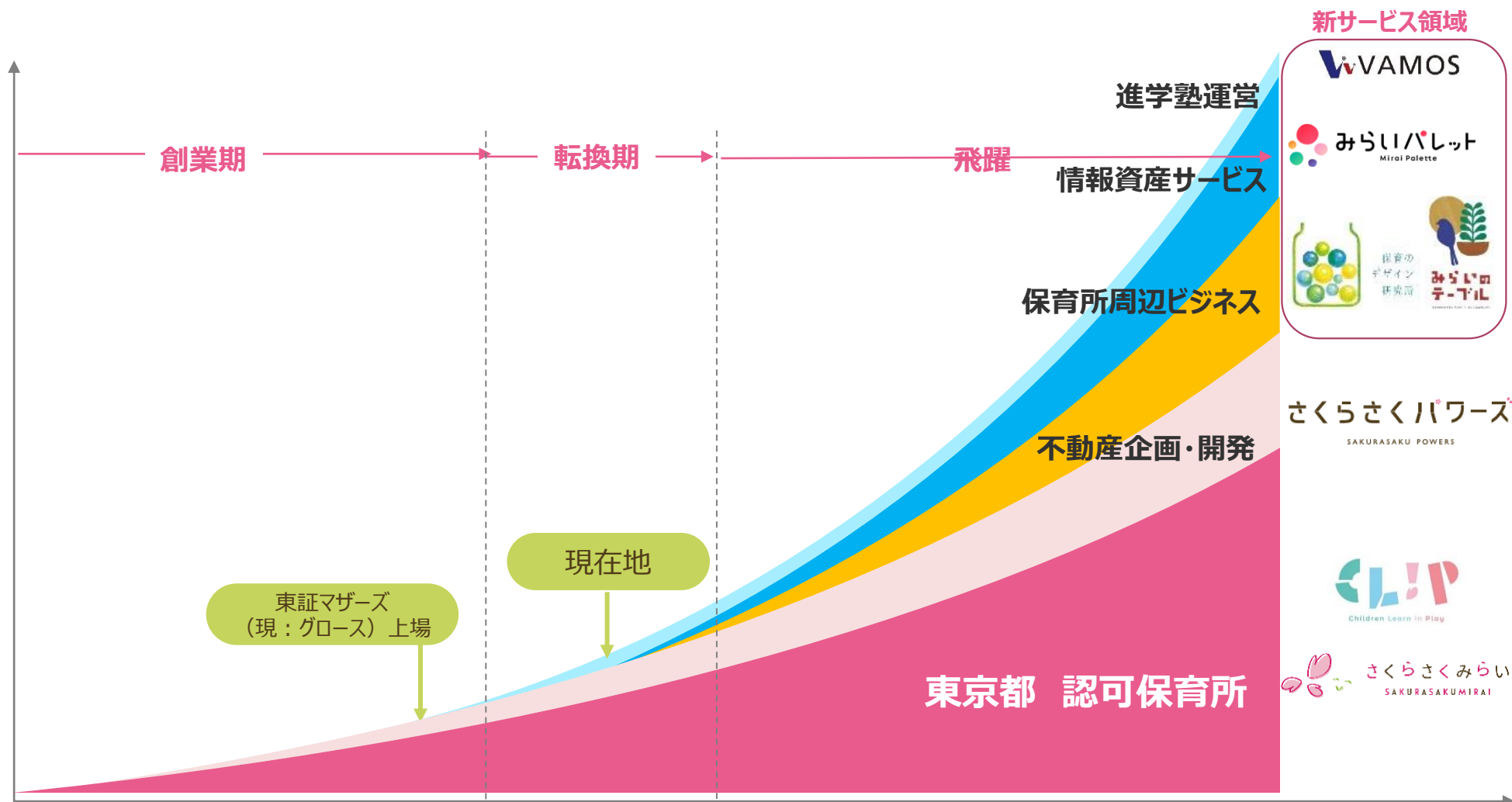
経営理念

安全と安心を提供し
自然で 和やかな笑いに満ちた あたたかい子育て環境を作り出す

～地域や社会と子どもやその保護者をつなぐハブ（拠点）へ～



- 東京都で最も選ばれる保育所を目指し 保育クオリティの向上・合理化や業務効率化によるコスト削減を進める
- 子ども・子育て支援事業として、認可保育所の運営を中心に保育所を利活用した不動産業務により収益をしっかりと積み上げる子育て支援住宅の開発や情報資産サービス等にも注力し、保育所周辺事業においても成長に向け積極的に推進させる



保育所周辺事業の拡張へ注力し、収益の多角化を実現



当社（持株会社）

さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI
株式会社さくらさくみらい
(連結子会社)

株式会社みらいパレット
(連結子会社)

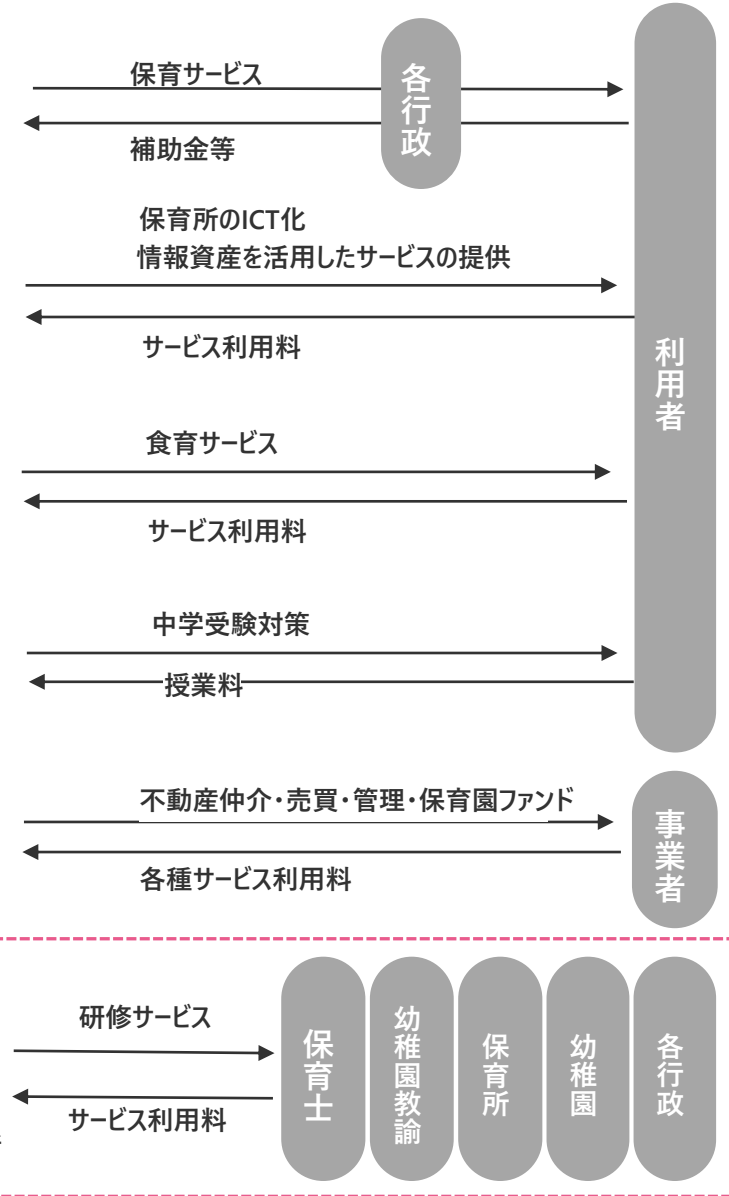
株式会社みんなの
(連結子会社)

VAMOS
株式会社VAMOS
(連結子会社)

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS
株式会社さくらさくパワーズ
(連結子会社)

New

株式会社保育のデザイン研究所
(2023年4月完全子会社化予定)





さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI

運営施設数

保育所 **86** 施設
(2022/10月末)

保育所利用者数

4,526人
(2023/1月末)

紹介・送客

サービス提供

情報提供

システム提供

情報提供

研修実施

紹介・送客

サービス提供

紹介・送客

教育コンテンツ
提供

食育サービス

子育て家庭対象

株式会社みんなのみらい
(連結子会社)

パン & エスプレッソ × さくらさくプラス
BREAD. ESPRESSO



システムやアプリケーションの 開発・運営

0歳～6歳対象とその保護者対象

株式会社みらいパレット
(連結子会社)

みらいパレット
Mirai Palette



NEW

保育研修サービス

保育士・幼児教育従事者対象

株式会社保育のデザイン研究所
(2023年4月連結子会社化予定)



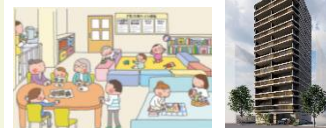
子育て支援住宅

子育て家庭対象

株式会社さくらさくパワーズ
(連結子会社)

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

子育て支援住宅イメージ



進学塾運営

6歳～15歳を対象

株式会社VAMOS
(連結子会社)

VAMOS



『株式会社保育のデザイン研究所』完全子会社化へ 質の高い研修を提供し、日本全国の保育施設をより安心できる場所に

保育運営法人や自治体に研修を提供
2023年4月3日に子会社化



保育の
デザイン
研究所



保育のデザイン研究所の強み

- 様々な分野の専門家との強いネットワークを活かした質の高い研修
- 300講座以上のオンライン研修をサブスクにて提供し、タイムリーなテーマの講座を手軽に受講可能
- 新人教育からマネジメントまで最先端の情報を幅広く網羅
- 集合研修（対面）やライブ研修は年間200回以上開催の実績
- それぞれの保育施設の状況に応じ内容をカスタマイズ

背景

社会情勢が変化をする中、保育・幼児教育の役割は多様化、一方、保育の現場では、日々、多忙な業務の中で学びの機会をもたずに、過去の知識からのアップデートがなされぬまま時代錯誤の保育が行われている可能性が否定できない状況

目的

保育・幼児教育にかかわる全ての方が不安なく保育を続けられる環境を整える

意義

日本全国の保育・幼児教育にかかわる方に学びの機会を提供することで、保育業界全体の質の向上を目指す



平成29年に厚生労働省より公表された、「保育士等キャリアアップ研修」については、オンデマンド研修の手法において全国で最も早く自治体から受注

乳幼児の栄養と満足を叶える安心安全なパンの開発
eコマースを通じた全国の働く保護者の支援を計画中

株式会社みんなの未来

子育てカフェ等運営
2021年9月設立

働く保護者と子どもの体と心を満たし、満足していただけるサービスを提供すべく、「パンとエスプレッソと」等のベーカリーカフェ経営の「株式会社日と々と（ひとびと）」（本社：東京都渋谷区、代表取締役：山本拓三、以下「日と々と（ひとびと）」）と合併で2021年9月30日に新会社「株式会社みんなの未来」を設立

パンと
エスプレッソと
BREAD,
ESPRESSO &

× さくらさくプラス
SAKURASAKU PLUS



子育てカフェ事業の進捗

株式会社みんなの未来の運営によるベーカリーカフェ
「未来のテーブル 門前仲町」

2022年12月 OPEN !

【所在地】東京都江東区富岡1丁目14-5
(深川不動堂の参道沿い)

最寄り駅：門前仲町駅

【席数】 店内15席、テラス12席（計27席） 予定



親子で楽しめるベーカリーカフェ

～心と体の栄養と満足を叶えるパンと親子共に心地よく過ごせる空間～

- 美味しいパンの提供とワクワクする店内（子どもの「行きたい」）
- オシャレな環境でゆったりと食事を楽しめる（大人の「行きたい」）

近隣には深川公園、深川不動堂、富岡八幡宮、木場公園がある
子育て世帯に人気のエリア！



パン作りの様子が見えるガラス張りの厨房と洞窟をイメージした店内入り口

順調に建設準備、進捗中
今後も積極的に企画・開発予定

さくらさくパワーズ

SAKURASAKU POWERS
2018年5月設立

さくらさくパワーズの有する不動産のノウハウと株式会社さくらさくみらいの有する保育所運営のノウハウを最大限に活用し、**子育て支援住宅の開発を開始**

安心して子どもを産み育てやすい社会の実現に向け、住居の立地、室内環境、近隣の生活環境という「生活を取り巻く環境」と、人との繋がり「心を取り巻く環境」の両軸をサポート

株式会社さくらさくパワーズ 代表取締役社長 岡田 崇

代表者経歴

武蔵工業大学（現：東京都市大学）工学部建築学科卒業後、大手デベロッパーにて、マンション、商業施設開発を手掛ける。

その後、数社の不動産開発会社を経て、2019年当社グループに入社。事業開発部責任者として保育園開発を行い代表に就任。

代表的な開発実績

汐留イタリア街づくり、リッツカールトン沖縄、神宮前・青山エリアで商業ビル多数。



新サービスの取り組み

子育て支援住宅の開発



第一弾・東京都港区西麻布案件 子育て支援住宅制度に認定
第二弾・東京都台東区浅草において子育て支援開発用地を取得
浅草においても「東京都子育て支援住宅認定制度」^{*}への申請

子育て支援の取り組み案

- 体験入園イベント
- 園で実践している保育プログラムの親子体験型イベント
- 保育士による絵本読み聞かせイベント
- 共有スペース内に「さくらさくライブラリー」を設置
- ベテラン園長による子育て相談の無料窓口を設置
- 保育所管理栄養士による食育相談無料窓口を設置



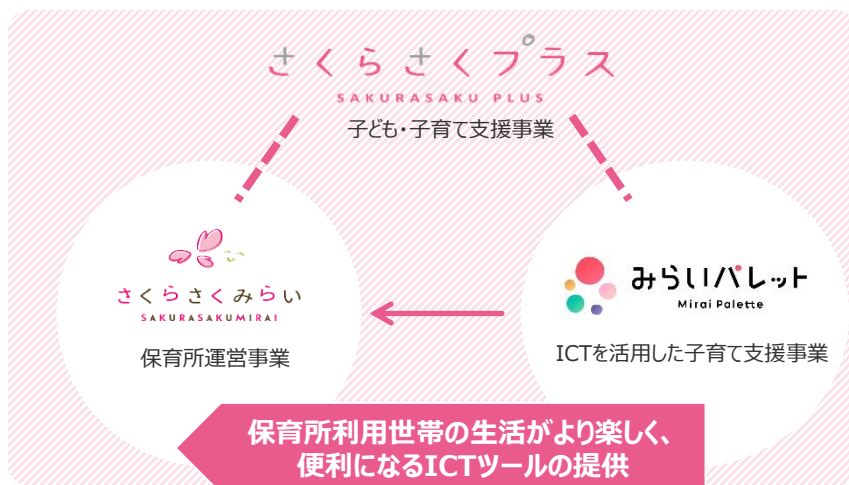
^{*}東京都子育て支援住宅制度とは、居住者の安全性、家事のしやすさなどに配慮された住宅で、子育てがしやすい環境づくりの取り組みを行っている優良な住宅を、東京都が認定する制度です。

保育所を起点としたコミュニティアプリの開発
子どもの個性に合わせた子育て知的アセットの提供
子育てのノウハウを共有し子どもたちも保護者も笑顔で過ごせるサービスを提供



システムやアプリケーションの開発・運営
2021年4月設立

テクノロジーと情報で子育て世帯をサポート



「園での日常をもっと知りたい」
…保護者の気持ちに寄り添うサービス

新サービスの取り組み

写真サービスの
内製化

販売開始から13か月
総売上枚数25万枚超！

子どもとその保護者の支援を目的に写真サービス
「さくらさくフォト」の提供を開始
2023年7月期よりグループへの収益貢献が本格化



さくらさくみらい専用アプリ
から写真を購入



低年齢児からの中学受験準備へのニーズ向上を受け注力



進学塾運営
2021年6月子会社化

保護者に代わって受験に係るすべてを塾がマネジメントするスタイルが好評価。その指導により難関校に多数の合格者を輩出することを通じて子ども達の成長へ大きく寄与



株式会社VAMOS
代表取締役社長 富永雄輔

代表者経歴

幼少期の10年間を、スペインのマドリッドで過ごす。京都大学経済学部を卒業後、東京・吉祥寺に幼稚園生から高校生・浪人生まで通塾する「進学塾VAMOS（バモス）」を設立。学習指導のみならず、さまざまな教育相談にも対応し、年間400人を超える保護者の受験コンサルティングを行っている。自身の海外経験を活かして、帰国子女の教育アドバイスにも力を入れているほか、トップアスリートの語学指導、日本サッカー協会登録仲介人として若手選手の育成も手掛けている。

<著書>

2022年8月23日「ひとりっ子の学力の伸ばし方」
(ダイヤモンド社) 発売

Amazon 子育てノンフィクションランキング 1位 **増版**



新サービスの取り組み

近年中学受験が過熱しており、2022年度の首都圏私立・国立中学入試の受験者総数は推定5万1,100人と過去最多

VAMOS 6つのポイント

1. お子さまに寄り添う指導
2. 質の高い講義
3. 学力・個性に合わせたクラス編成
4. 仲間と共に高めあえる環境
5. 最新の受験事情の提供
6. 未来につながる授業

共働き世帯も多い昨今、子育て家庭の受験を全力でサポート



保育業界は、量の拡大フェーズから保育の質の向上フェーズへとステージが変化
保育教育の実践に関する研修を通じて関わる保育人材の育成を推進し、保育の質を向上



”新たな乳幼児教育プログラム「CLiP」

各分野の専門家の協力を得て、認知能力の発達に繋がる乳幼児教育への取り組みプログラム。子どもたちの「なりたいみらい」を実現できる力を育む保育を実践

「ことば・もじ」分野



松崎 泰 先生

東北大学 加齢医学研究所
認知機能発達寄附研究部門



榑 浩平 先生

東北大学 加齢医学研究所
脳科学研究部門
応用脳科学研究分野

「かず・かたち」分野



松尾 七重 先生

国立大学法人 千葉大学
教育学部



中和 渚 先生

関東学院大学
建築・環境学部

さくらさくみらいが 取り組む 乳幼児教育

「子どものあそびとまなび」講演会の開催 道具を使わない運動あそびプログラム



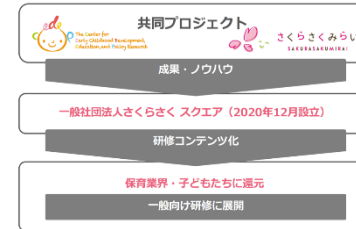
東北大学加齢医学研究所の松崎先生と榑先生をお招きし、乳幼児の脳の発達の観点から、脳に関する研究・調査結果についてご講演



さわだスポーツクラブと
共同開発本格導入

さくらさくみらい SAKURASAKUMIRAI

東京大学大学院との保育・教育の実践に関する協力研究



*左から、Cedep天野美和子特任助教、野澤祥子准教授、当社代表:西尾 義隆

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターと協力し、子ども一人ひとりの発達特性に応じて、それぞれの時期にふさわしい自発的、主体的な活動および遊びを援助する環境づくりの一つとして、保育・教育の実践に関する調査研究を行い、研修を通じて関わる人材の育成を推進するプロジェクト

協力研究の進捗



- 入所率は回復基調にあるため、前期開設施設や既存施設の入所率及び在籍率の向上等により、増収、営業増益見込み
保育所の新規開設のフェーズから、既存施設の入所率の向上と子ども・子育て支援サービスの多様化フェーズへ

(百万円)	2022年7月期 実績	2023年7月期 計画	前期比	2024年7月期 計画	前期比	2025年7月期 計画	前期比
			増減率 (増減数)		増減率 (増減数)		増減率 (増減数)
売上高	11,992	13,689	14.2%	14,254	4.1%	14,898	4.5%
営業利益	21	335	—	476	42.1%	697	46.2%
経常利益	1,160	441	△62.0%	662	50.1%	879	32.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	365	282	△22.8%	461	63.4%	640	38.9%
保育所数	85	88	3	91	3	94	3

※前提となる市場規模推移は、東京都内の待機児童5,000人～10,000人、都内の就学前児童人口は5%減を想定
 ※対前年比で開園数が減少する年度においては開設補助金が減少することにより経常利益段階では減益となる

- ♥ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ♥ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ♥ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ♥ 当社は、将来の見通し、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の見通しと大きく異なることもありえます。
- ♥ 本資料における将来の見通しに関する情報は、2023年3月15日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によってなされたものであり、今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

